

令和元年度事業報告

(令和元年7月1日から令和2年6月30日まで)

(会の目的)

100年先も子どもたちが幸せであることが最大の目的。まず東日本大震災で未だ元の生活に戻れていない福島の子どものための応援を続けることで、日本の子どもたちの幸せの一助となることが会の目的である

(事業)

1・福島県の子どもたちを応援する

1. ミナソラの単独事業としては3回目となる「短期幼稚園留学」を実施した。東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能に汚染され未だ外遊びが制限されている福島県の幼稚園児とその母親を京都に招待し、心身ともにリフレッシュしてもらった。

◇募集

福島県私立幼稚園認定こども園連合会を通じて、全園児対象にチラシ17000枚を配布。

◇参加者

応募者20組の中から4組(大人4名+子ども6名)が参加。

Fさん(郡山市)+年長児

Hさん(いわき)+年少児+未就園児

Kさん(郡山市)+年長児+未就園児

Yさん(須賀川)+年中児

◇実施期間

令和元(2019)年10月16日から11月2日まで

◇受け入れ幼稚園

洛西花園幼稚園

◇期間中の住居

マンスリーマンション4部屋に滞在

◇主な行事

- ・洛西花園幼稚園歓迎会(はじめましての会)
- ・坐禅体験・ランチ交流会(場所:妙心寺)
- ・クッキング教室(場所:洛西花園幼稚園)
- ・マクロビクッキング(場所:ならの木薬局大原野店)
- ・お芋ほり

- ・遠足（奈良公園：年長、伊丹スカイパーク：年中、京都市動物園：年少）
- ・カーニバル
- ・お別れ会

◇メディア取材

- ・京都新聞 2回掲載
- ・関西テレビ 1回放送

2. ミナソラノシタオリジナルグッズを販売し、その収益の一部を「福島子ども応援基金」として積み立てた。

6月末現在積立額1,358,695円（基金設立以来累計 2,399,695円）

3. 郡山市私立幼稚園協会にハンドソープを寄贈した。

ハンドソープ（2019年4月18日） 240個

2・東日本大震災を忘れない啓発活動を行う

◇イベント・ブース出展を通じた啓発活動

1. 講演会「未来へのバトン」を開催した。

開催日：10月22日 13時～15時

会場：バンビオ1番館（長岡京市生涯学習センター）

第1部 講演を予定していた松本市長菅谷昭さんが台風20号に備える公務のため急遽欠席となり、南相馬市で被災した渡辺さんに震災当時の状況を話してもらった。

第2部 福島からお越しいただいたお母さんと幼稚園留学で京都に来ている福島のお母さん及び京都のお母さんによるパネルディスカッションを行った。

来場者：200名

2. 地域の祭りやイベントに出展し、オリジナルグッズ販売とともに会のPR活動を行った。

11月16日 向日市まつり

3. 講演・講座

9月4日 「100年先もミナソラノシタ」コープ自然派・エルコープ主催

◇広報活動

1. 第3回幼稚園留学活動報告書を発行した（2020年5月1日）

2. マスコミ取材

- ・KBS 京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」（7月16日）

- ・FM おとくに リヴ☆ラジ（10月12日、2020年3月1日）

- ・京都新聞

- 「グッズ 幼稚園教材採用」（2019年8月20日）

- 「ミナソラ長岡京で講演」（9月5日）

- 「原発事故の支援考える」（10月10日）

「心身癒した活動 感謝」 (10月23日)

「福島の親子 不安から離れ」 (12月1日)

「福島にミナソラの輪」 (2020年5月6日)

◇研修活動

- 1 ボーダレスアカデミーにてメンバー2名が研修を受講した (2019年11月~2020年2月)
- 2 防災士研修講座受講 メンバー3名が防災士資格を取得した (2020年3月)
- 3 信頼資本財団 A-KIND 塾にメンバー1名が入塾した (2020年4月~)
- 4 エシカル協会エシカルコンシェルジュ連続講座をメンバー1名を受講した (2020年5月~)

3・福島と京都のご縁を紡ぐ

1. 幼稚園留学経験者主体のミナソラノシタ福島支部が発足した (2020年3月11日)

4・定例会の開催

上記を達成するために定例会を開催した。

7/31、9/27、10/20、11/20、1/31、4/22 (オンライン)、5/10 (オンライン)、6/20 (オンライン)、6/30

以上